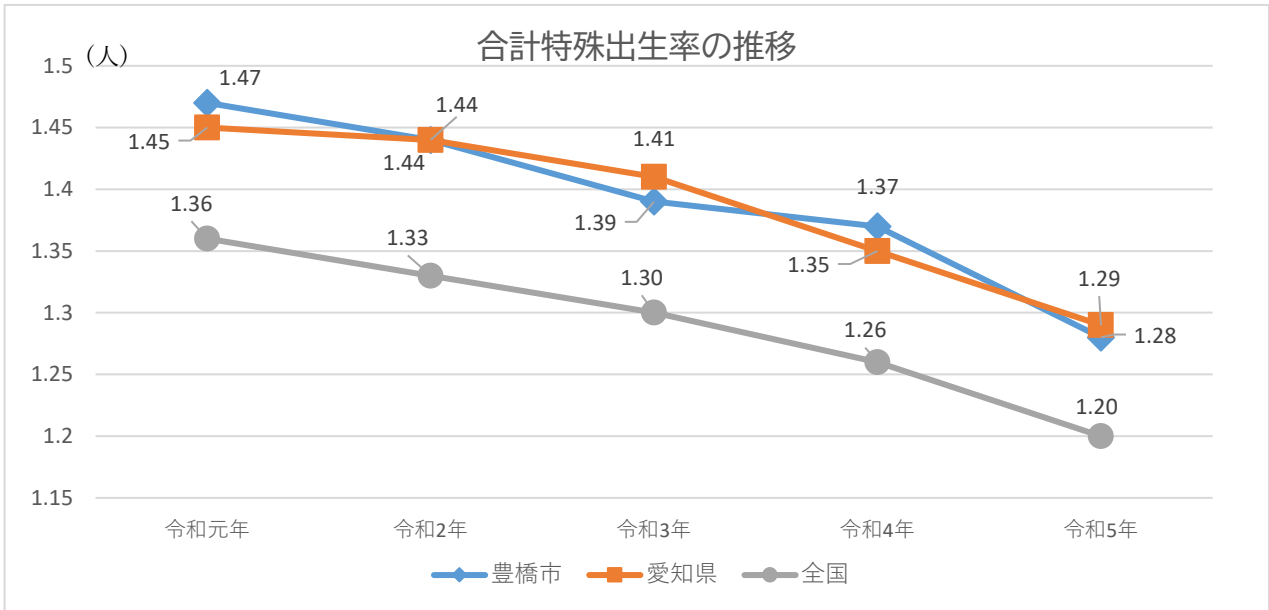


〈参考資料〉

[図表1-1]

◆合計特殊出生率

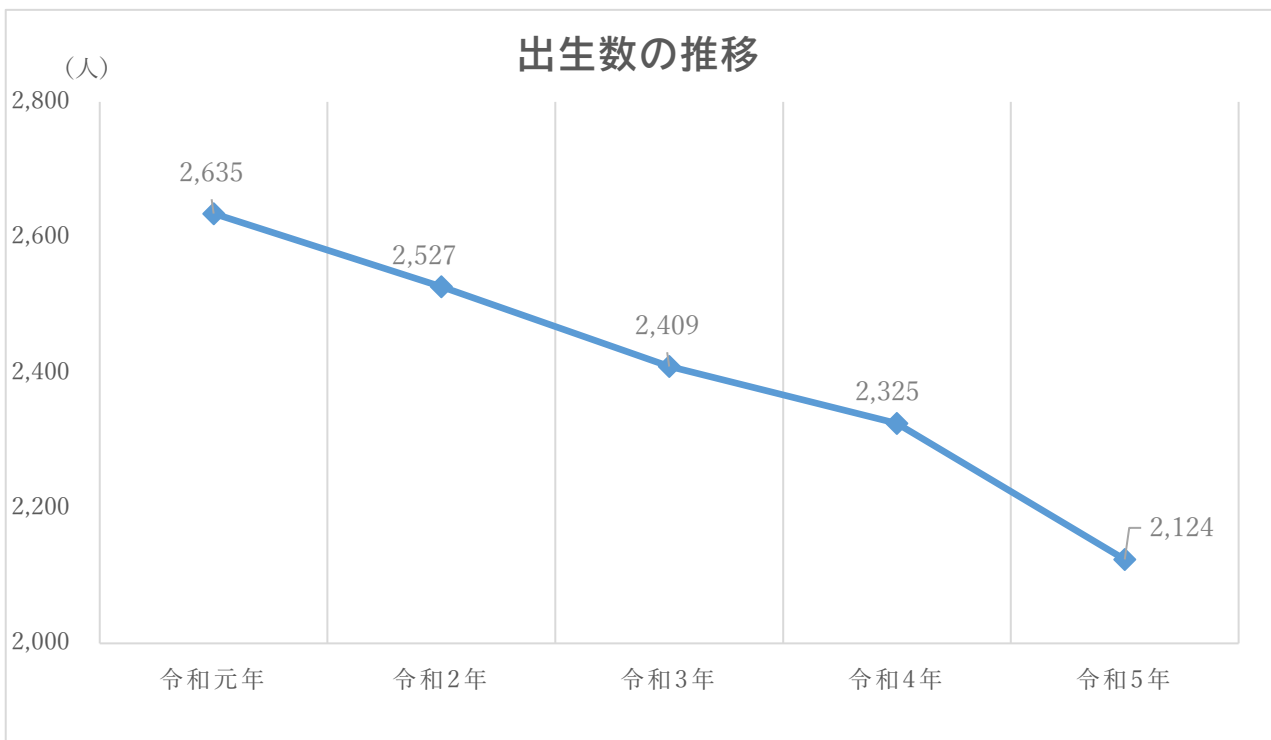


資料:厚生労働省 人口動態調査(令和元年~令和5年)

※令和5年については概数

[図表1-2]

◆出生数

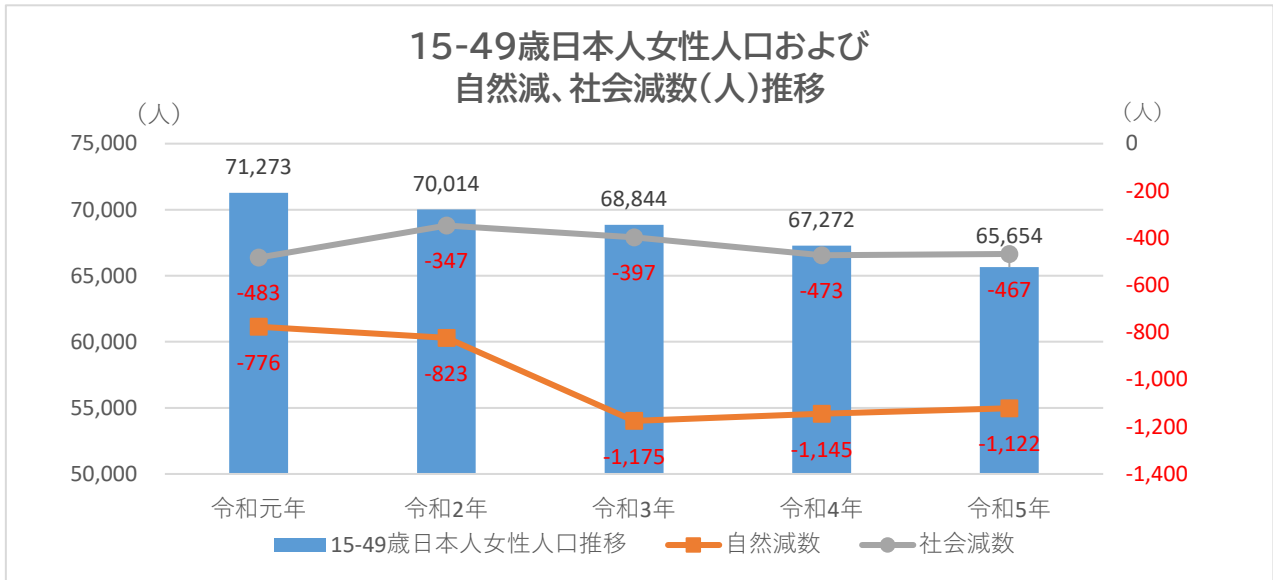


資料:厚生労働省 人口動態調査(令和元年~令和5年)

※令和5年については概数

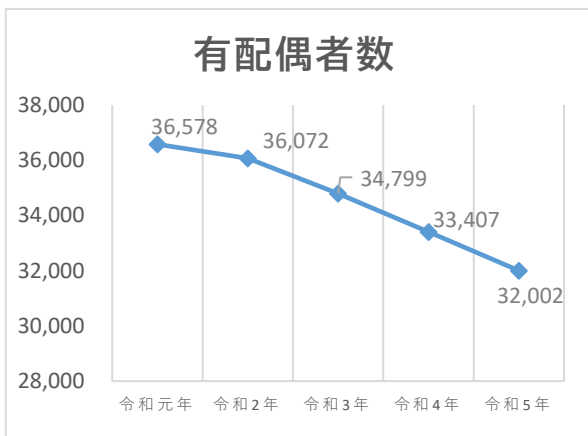
[図表1-3]

◆ 15歳から49歳日本人女性の人口



[図表1-4]

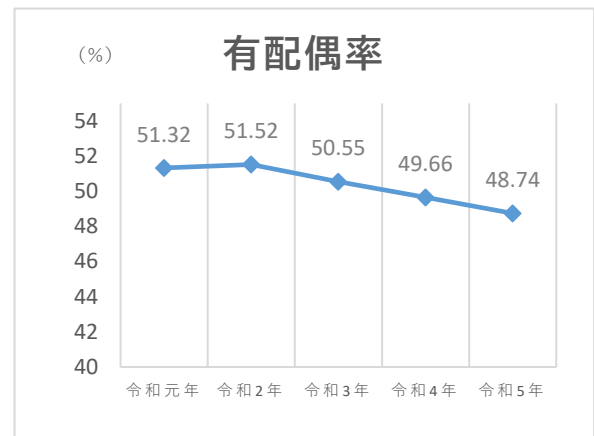
◆ 15歳から49歳日本人女性の有配偶者数



※婚姻数、転入出数等から推計

[図表1-5]

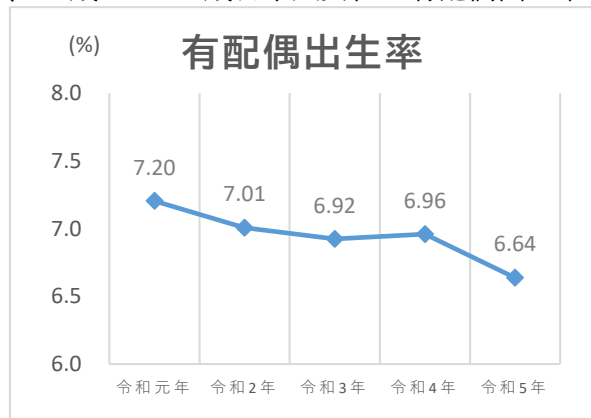
◆ 15歳から49歳日本人女性の有配偶率



※婚姻数、転入出数等から推計

[図表1-6]

◆ 15歳から49歳日本人女性の有配偶出生率



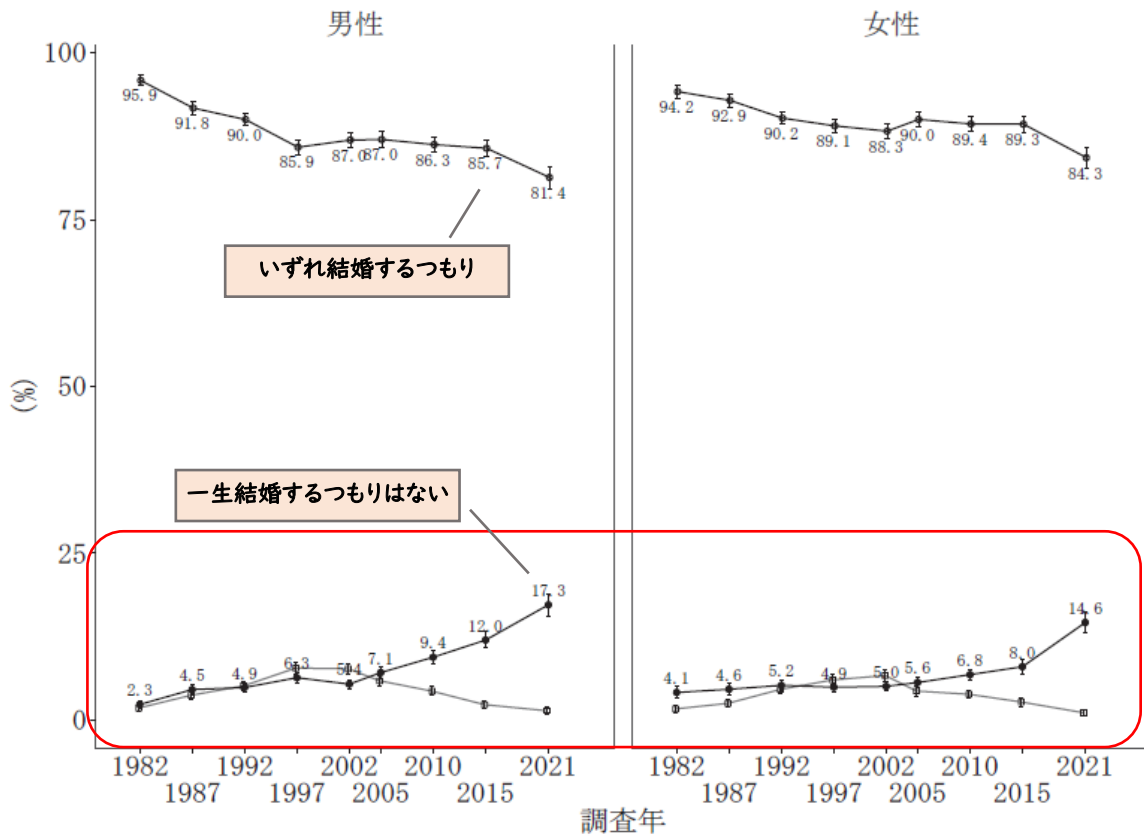
※婚姻数、転入出数等から推計

資料:

- ・総務省 住民基本台帳に基づく人口 人口動態及び世帯数調査(令和元年～令和5年)
- ・厚生労働省 人口動態調査(令和元年～令和5年)
- ・総務省 住民基本台帳 人口移動報告年報(令和元年～令和5年)
- ・総務省 国勢調査(令和2年)

[図表2-1]

◆未婚者の生涯の結婚意思（18歳～34歳未婚者）

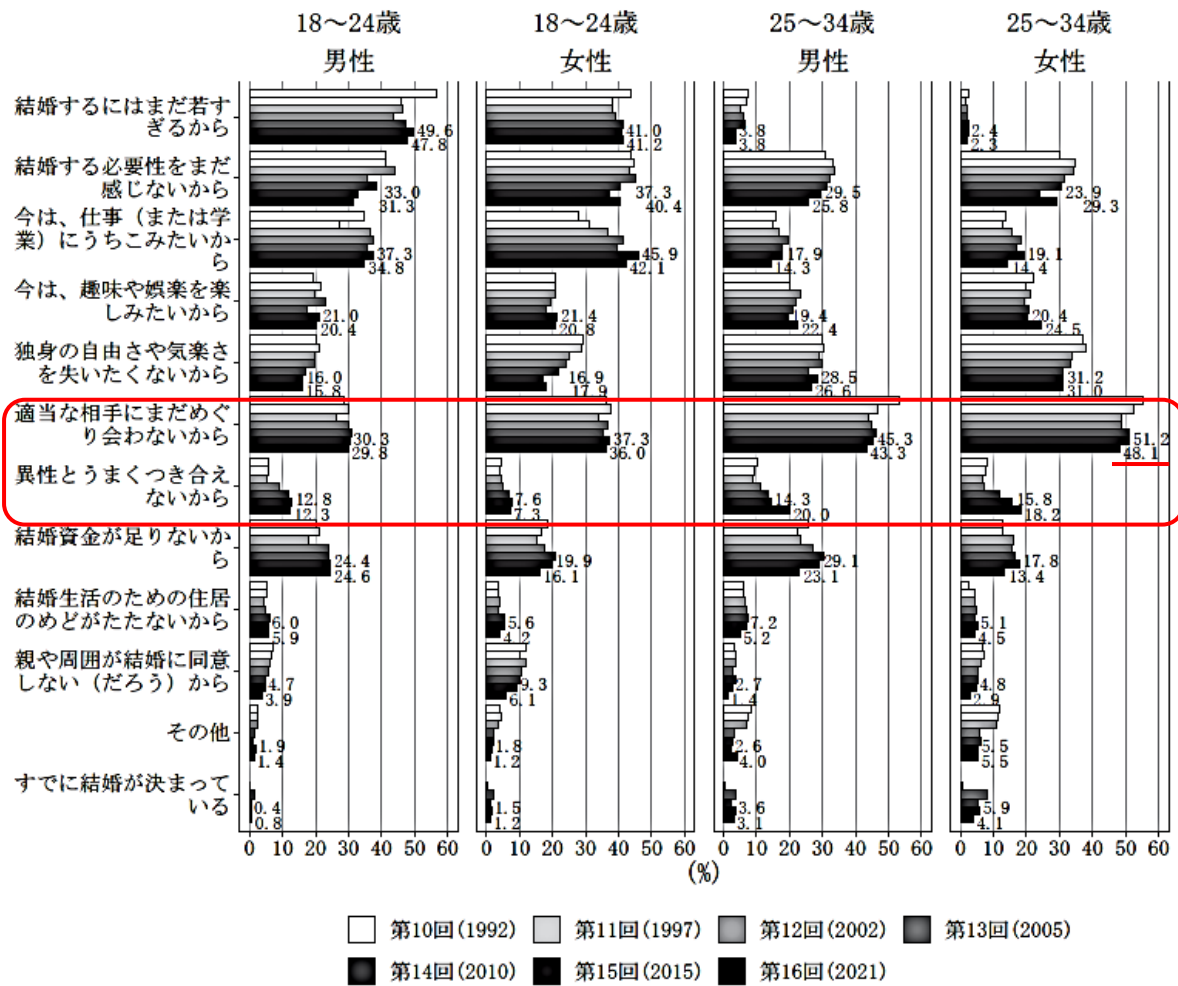


○ いずれ結婚するつもり ● 一生結婚するつもりはない □ 不詳

資料: 国立社会保障・人口問題研究所 2021年社会保障・人口問題基本調査
第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書

[図表2-2]

◆各「独身でいる理由」を選択した未婚者の割合



資料：国立社会保障・人口問題研究所 2021年社会保障・人口問題基本調査
第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書

[図表3-1]

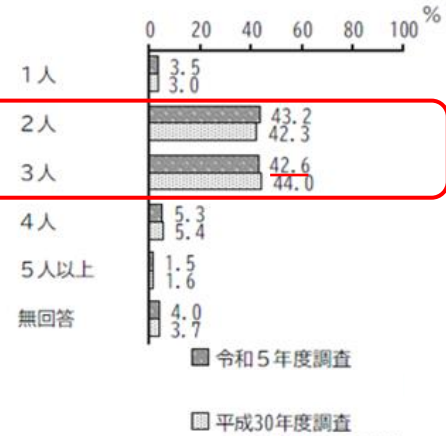
◆理想とするこどもの人数と実際（予定）のこどもの人数

理想とする子どもの人数

【就学前児童】

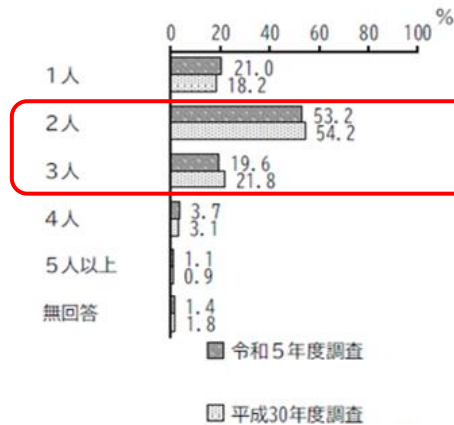


【就学児童】

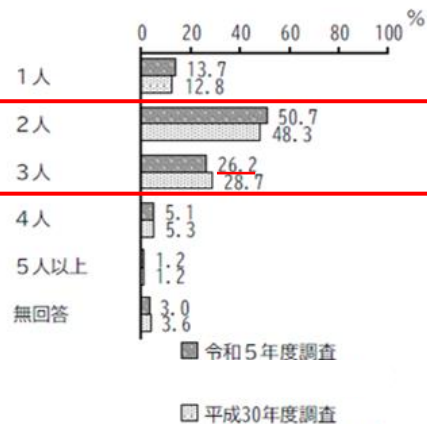


実際（予定）の子どもの人数

【就学前児童】



【就学児童】

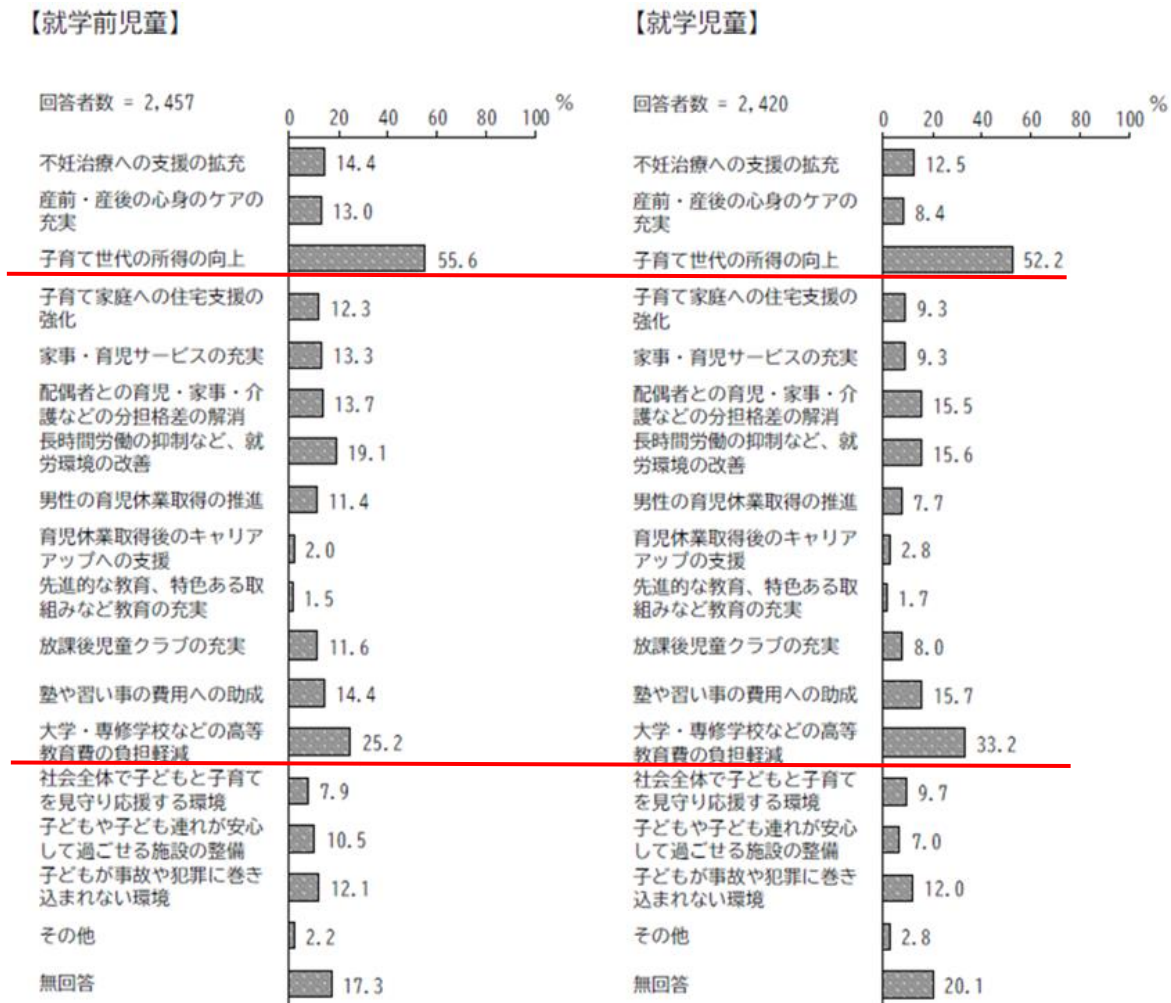


資料:「豊橋市子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果報告書」(令和6年3月)

[図表3-2]

◆理想とする子どもの数を実現するために必要な施策

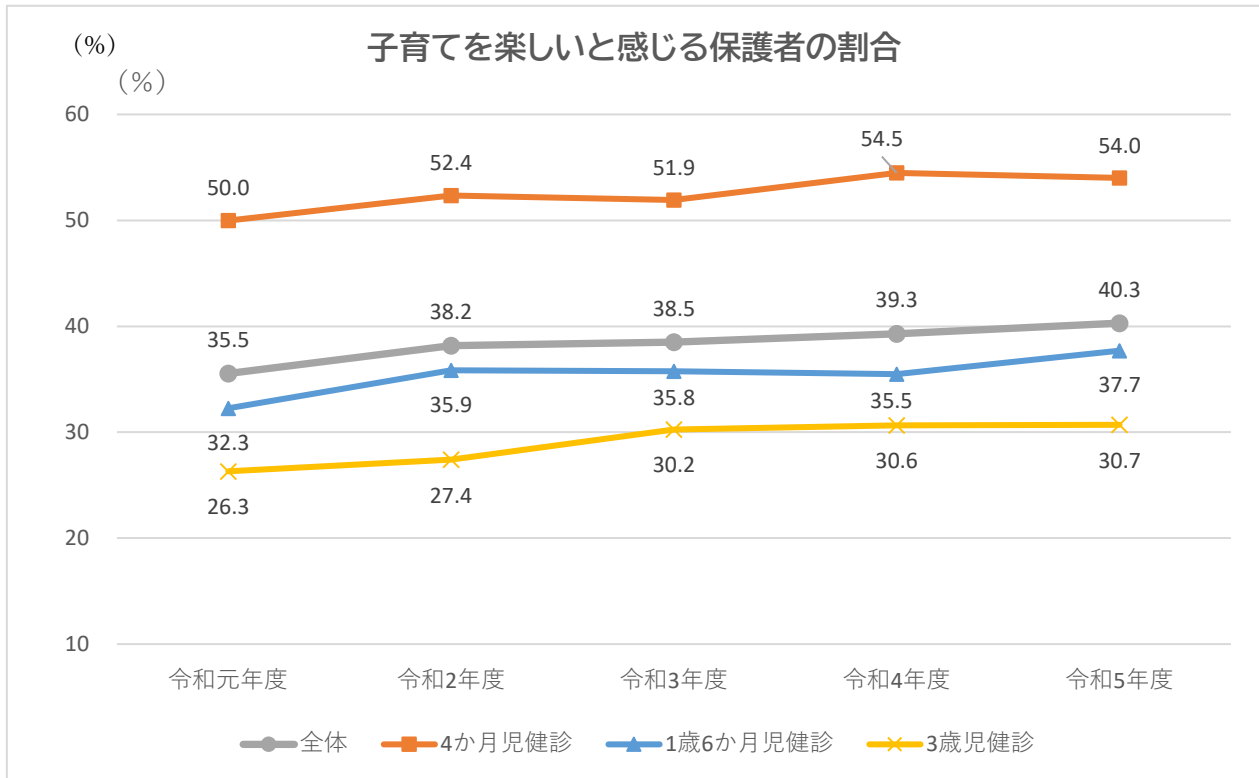
問：理想とする子どもの数を実現するためにはどのようなことが必要とお考えですか。



資料：「豊橋市子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果報告書」(令和6年3月)

[図表4-1]

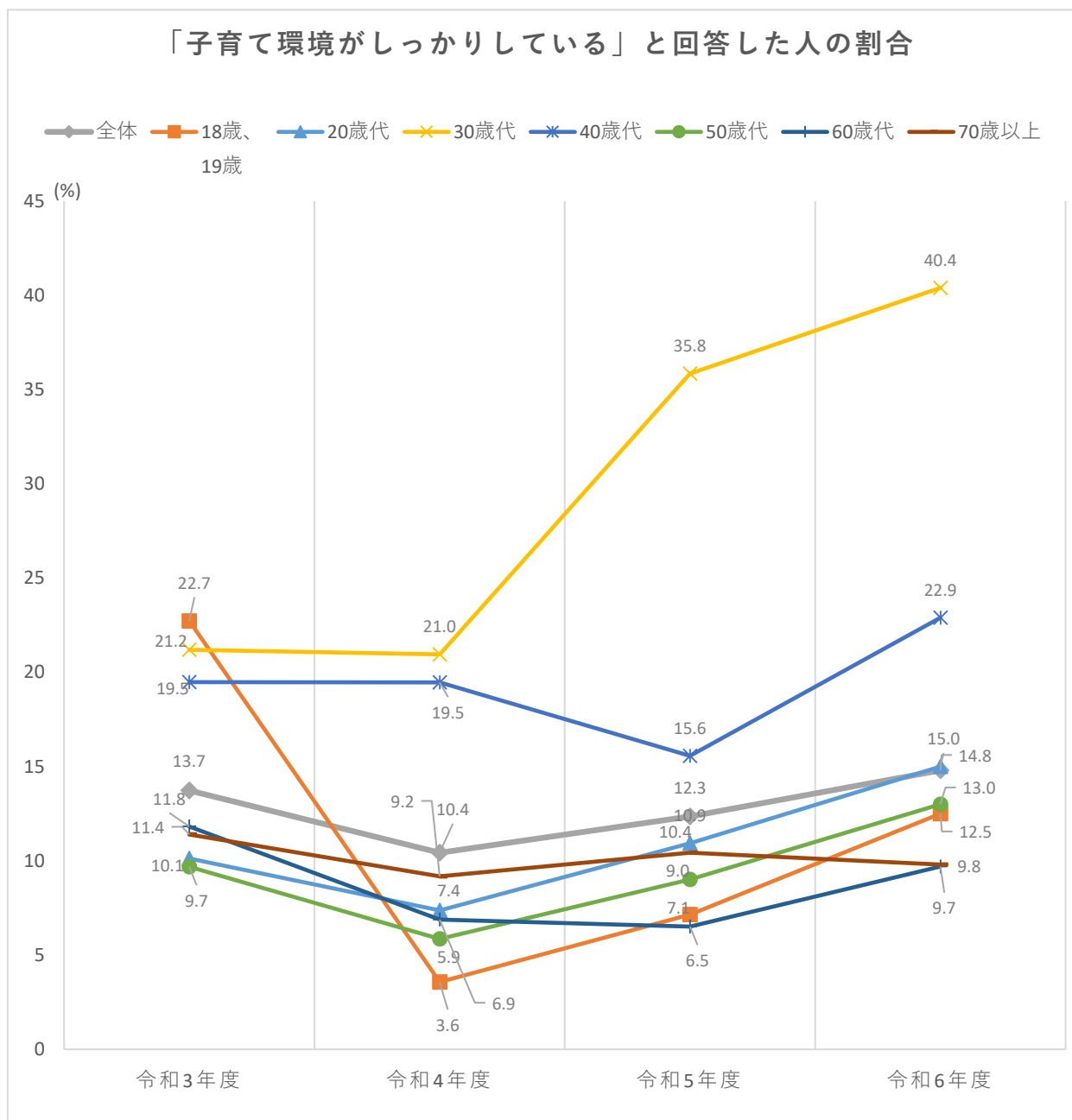
◆子育てを楽しんでいると感じる保護者の割合



資料:豊橋市保健所乳幼児健康診査 (令和元年度～令和5年度)

[図表5-1]

◆本市の自慢できるところとして回答した市民の割合

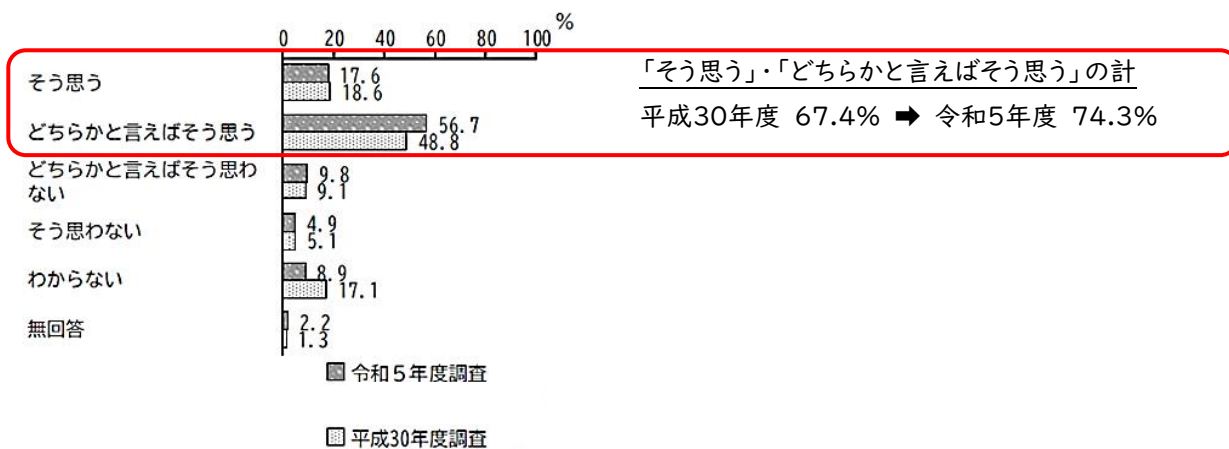


資料：豊橋市市民意識調査(令和3年度～令和6年度)

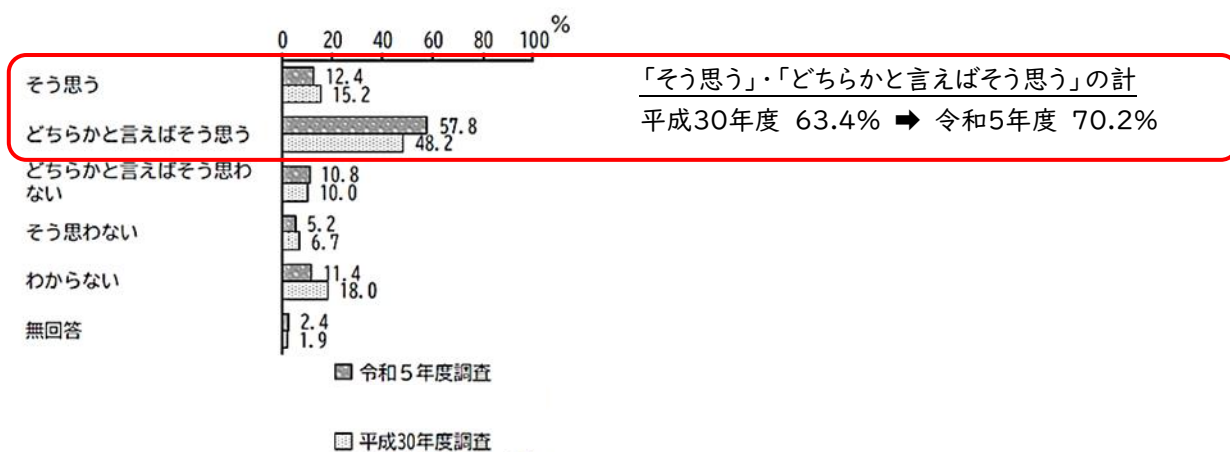
[図表6-1]子育て環境への評価

問：豊橋市は子育てしやすいまちだと思いますか

【就学前児童】



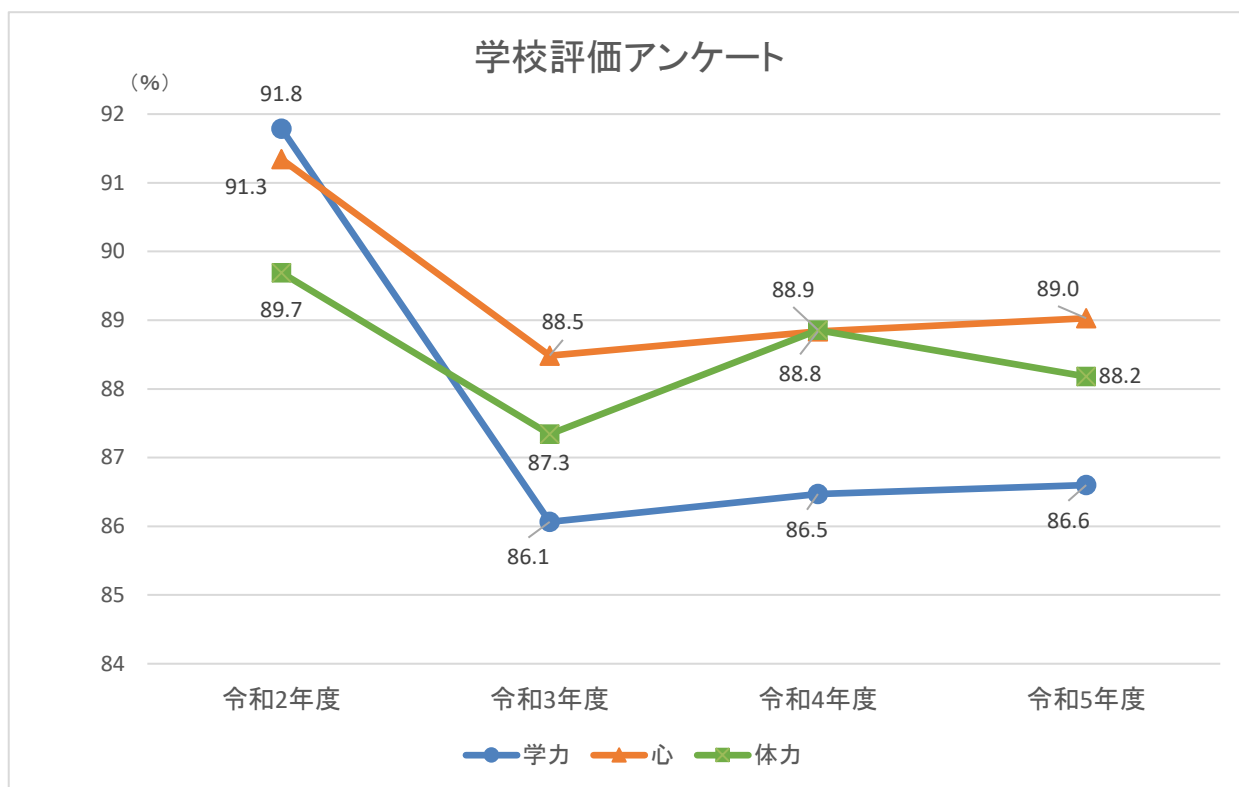
【就学児童】



資料:「豊橋市子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果報告書」(令和6年3月)

【図表7-1】

◆「学校で子どもたちの確かな学力が育まれている」「豊かな心が育まれている」「健やかな体が育まれている」と感じている保護者の割合



※【学力】「問：学校は、子どもたちに知識や技能、自分で考え実行する力などを育てている。」

【心】「問：学校は、子どもたちに他人と協調し、思いやる心や感動する心を育てている。」

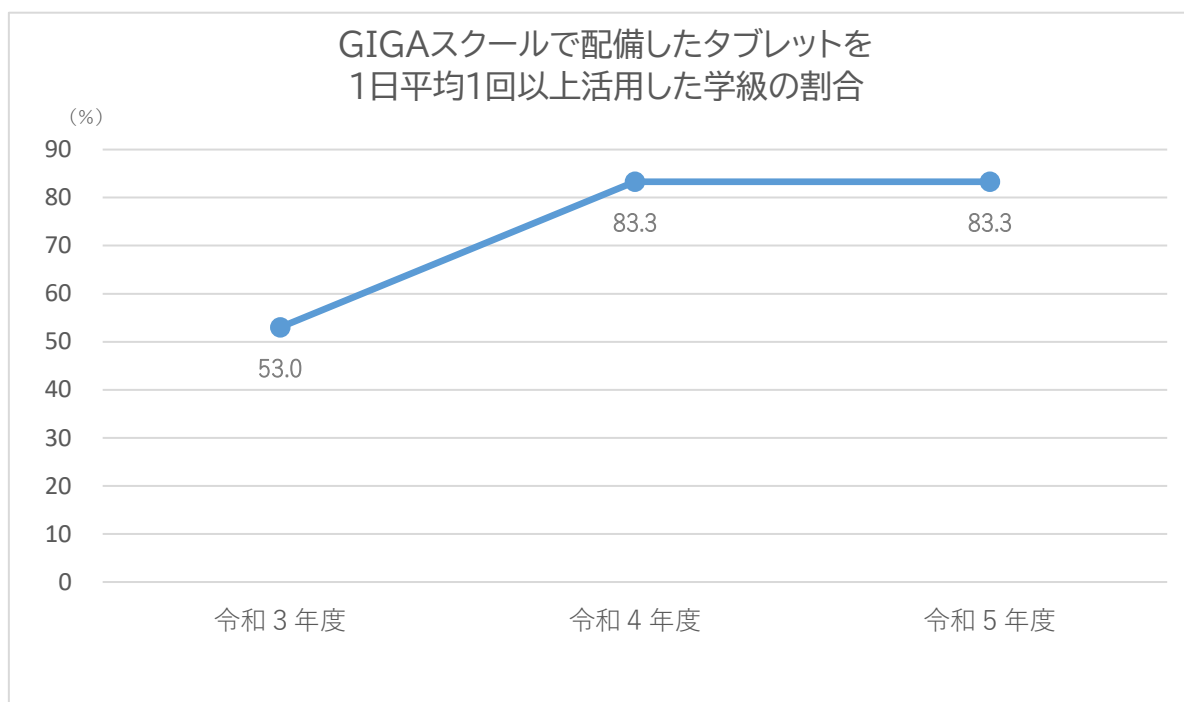
【体力】「問：学校は、子どもたちに必要な体力や、健康に気をつけて生活する意識を育てている。」

各問いに対し、「十分に育てている」・「概ね育てている」と回答した割合

資料：豊橋市教育委員会学校評価アンケート(令和2年度～令和5年度)

[図表8-1]

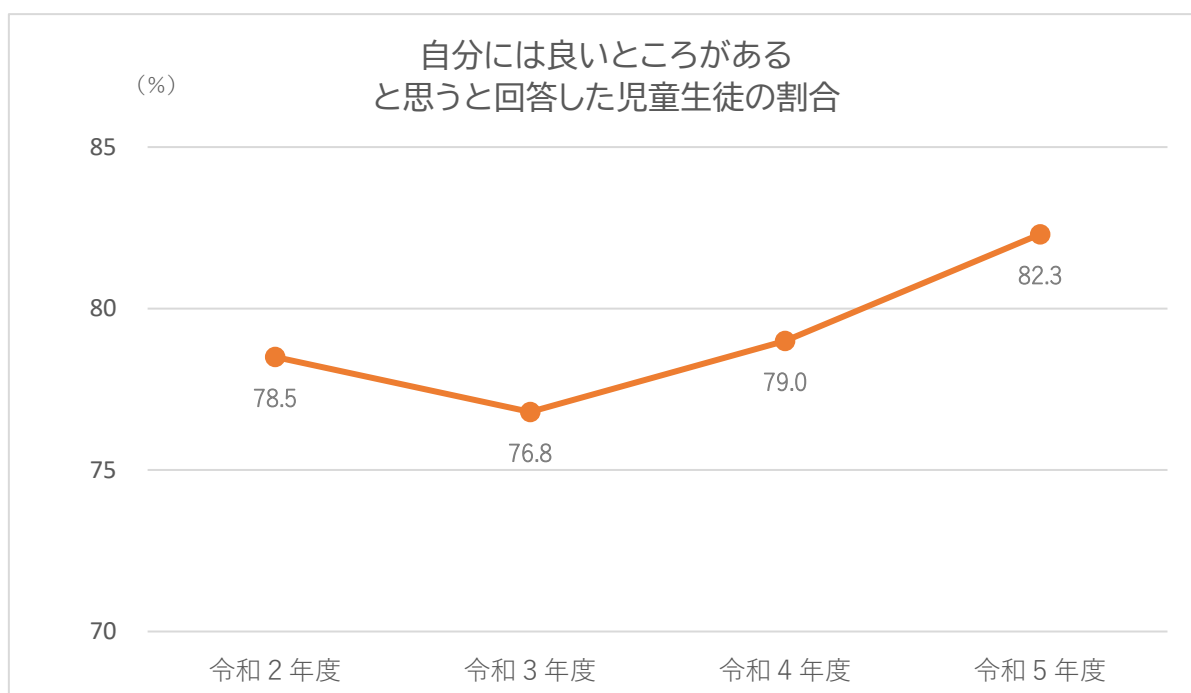
◆ GIGA スクールで配備したタブレットを1日平均1回以上活用した学級の割合



資料: 第2次豊橋市教育振興基本計画に基づく実績調査(令和3年度～令和5年度)

[図表9-1]

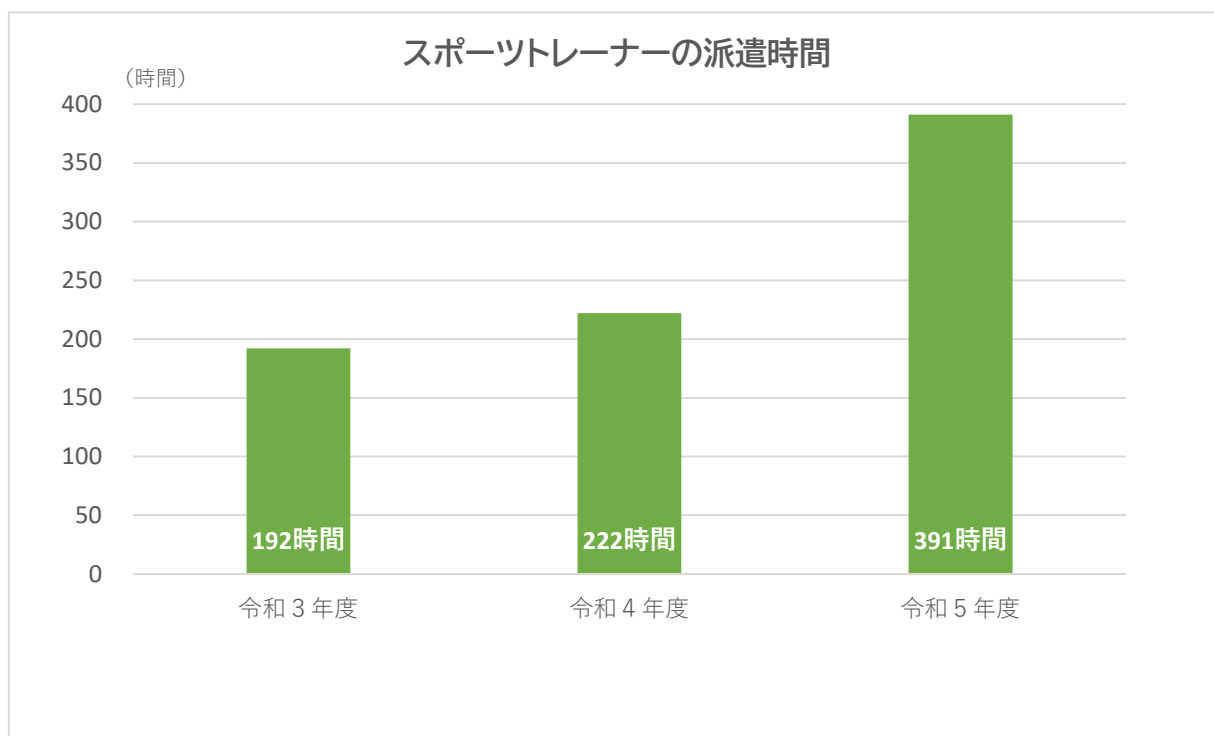
◆ 自分には良いところがあると思うと回答した児童生徒の割合



資料: 第2次豊橋市教育振興基本計画に基づく実績調査(令和3年度～令和5年度)

[図表10-1]

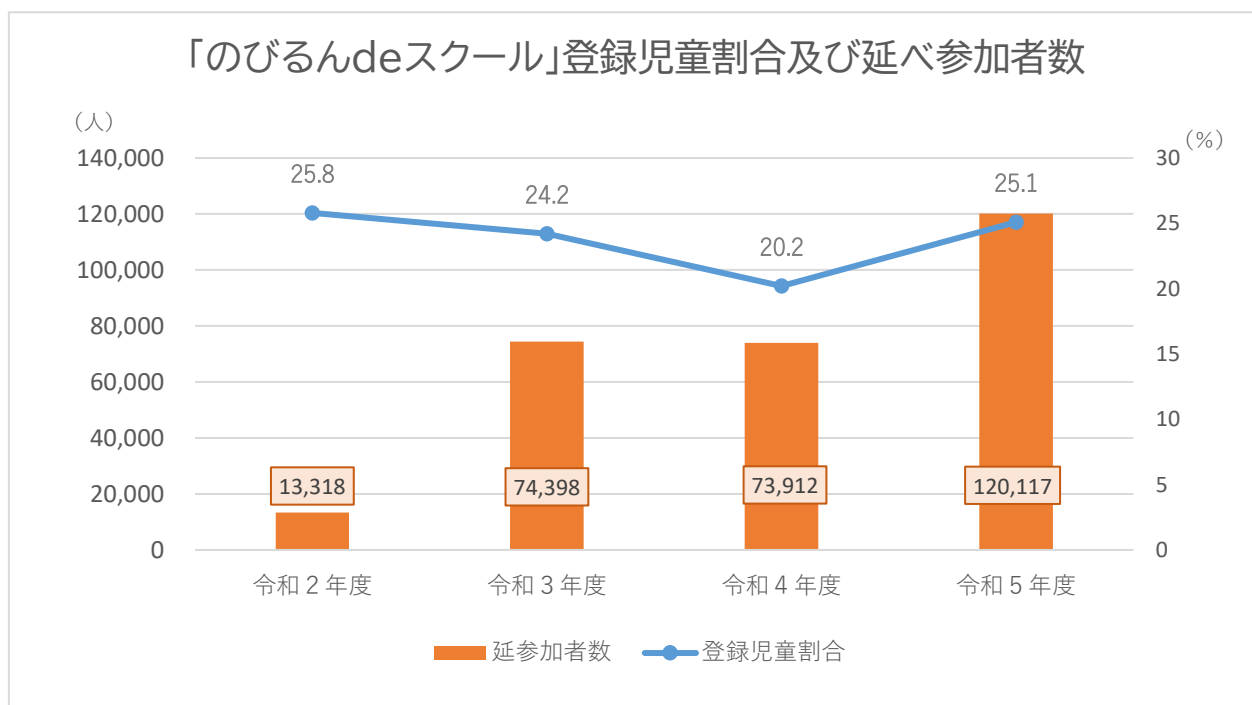
◆ スポーツトレーナーの派遣時間（年間延べ時間数）



資料: 第2次豊橋市教育振興基本計画に基づく独自調査(令和3年度～令和5年度)

[図表11-1]

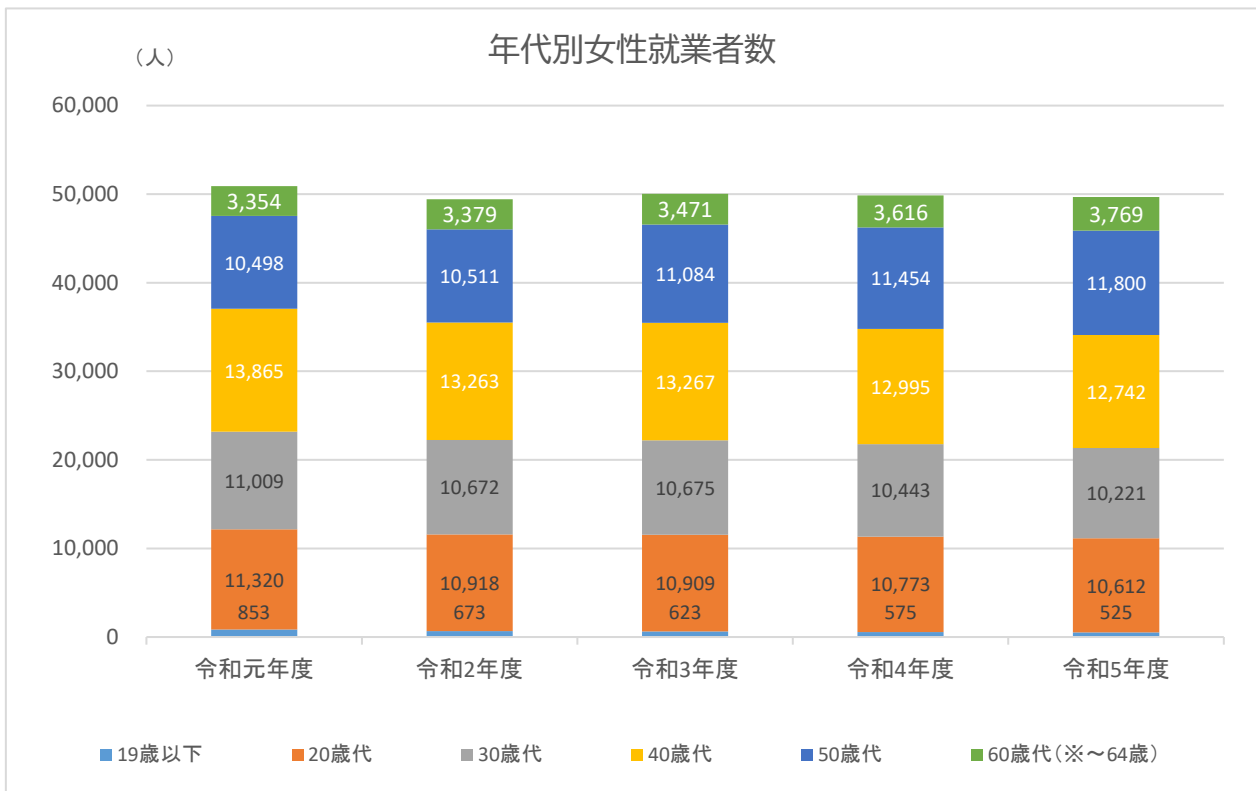
◆ 「のびるん de スクール」登録児童割合及び延べ参加者数



資料: 第2次豊橋市教育振興基本計画に基づく実績調査(令和2年度～令和5年度)

[図表12-1]

◆年代別女性就業者数

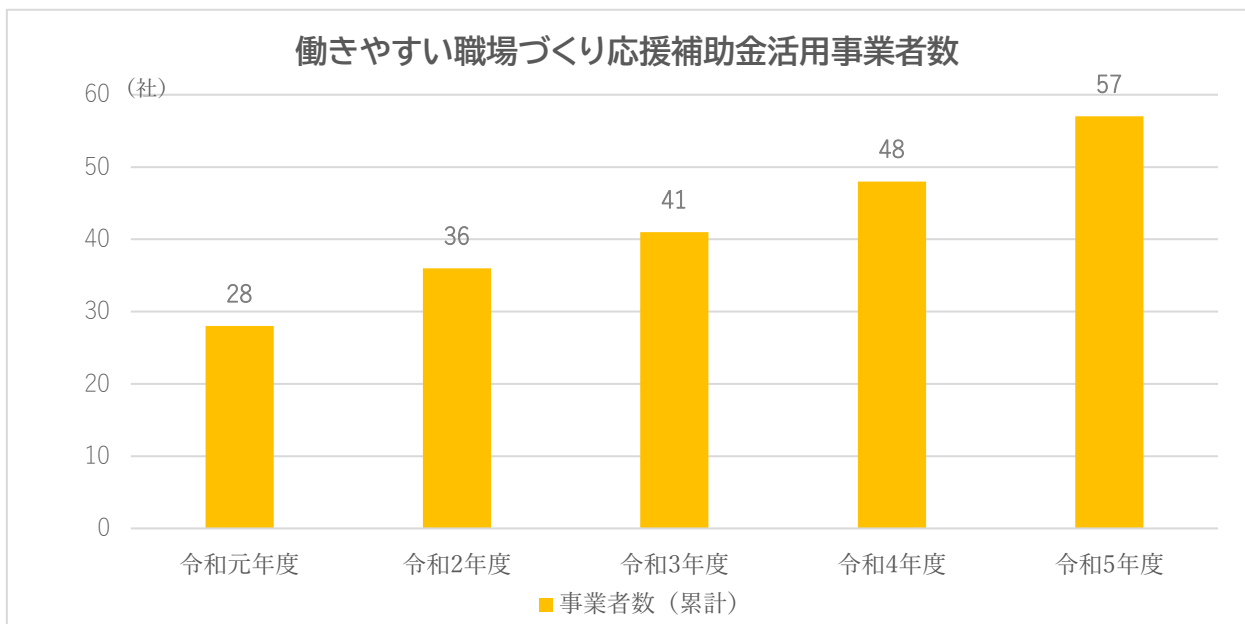


※各年齢別の数値は、毎月の被保険者数の合計を12で割り、端数を四捨五入して計上した平均値

資料: ハローワーク豊橋雇用保険年齢別適用状況(令和元年度～令和5年度)

[図表13-1]

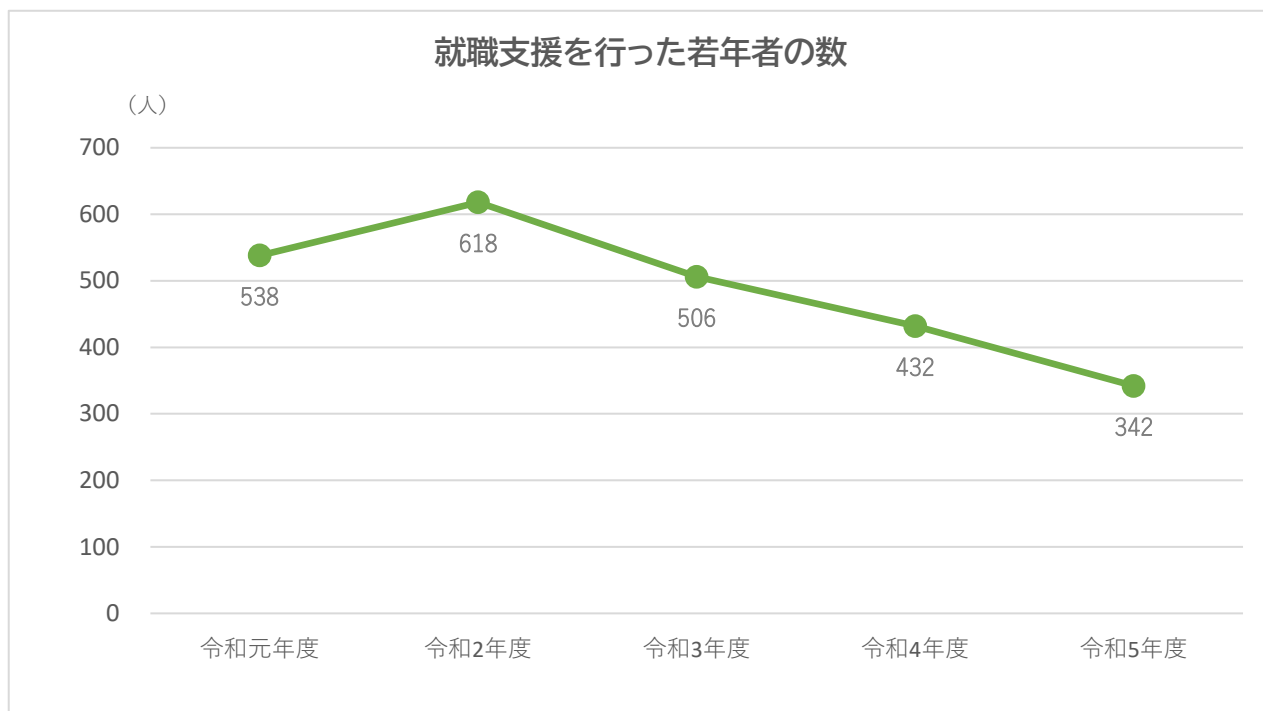
◆働きやすい職場づくり応援補助金を活用した事業者数



資料: 豊橋市商工業振興課調べ(令和元年度～令和5年度)

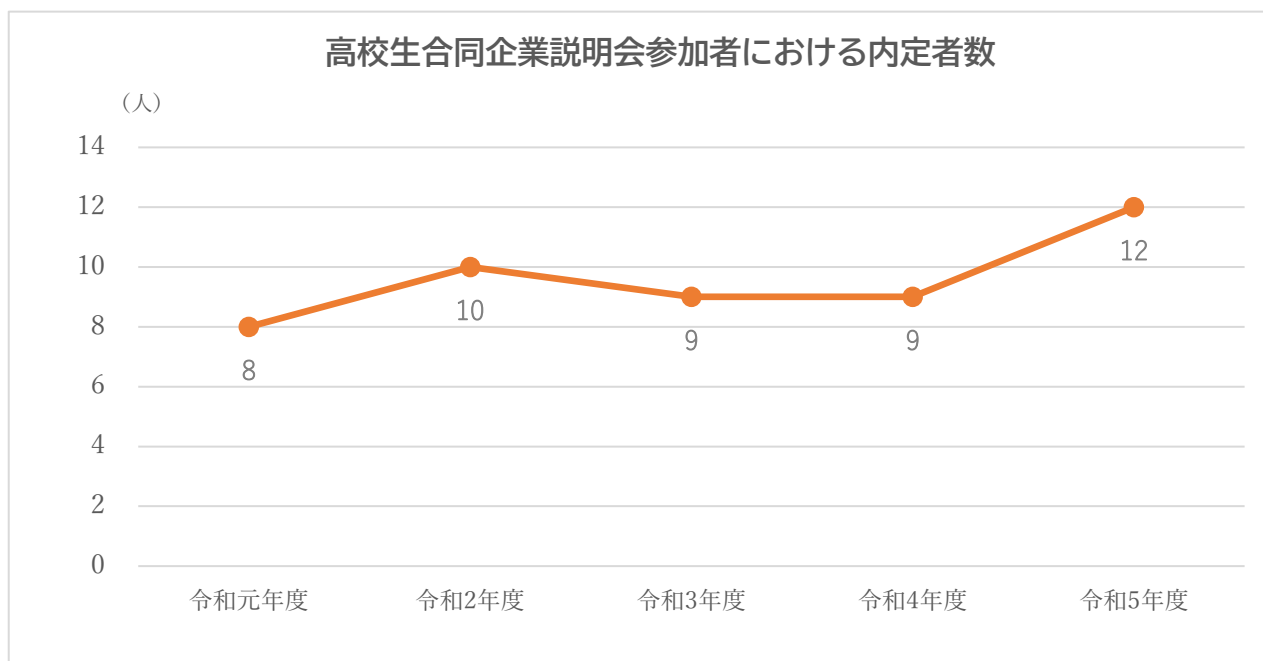
[図表14-1]

◆ 就職支援を行った若年者の数



[図表14-2]

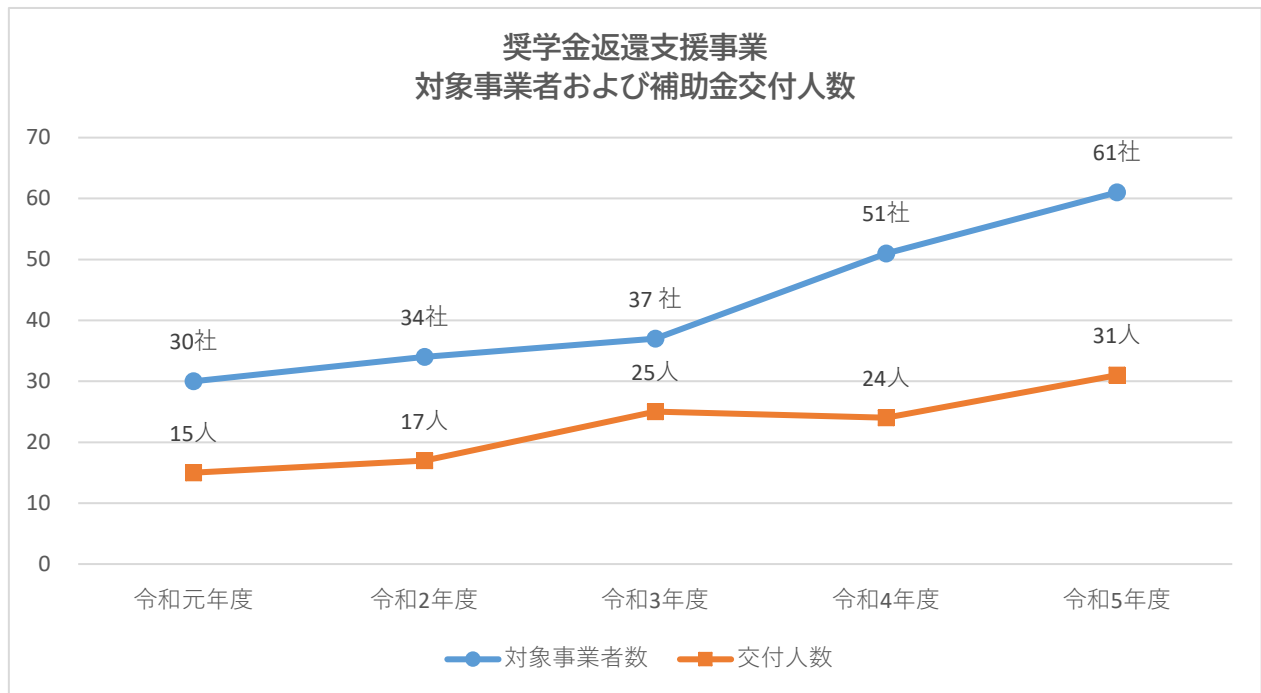
◆ 高校生合同企業説明会参加者における内定者数



資料:豊橋市商工業振興課調べ(令和元年度~令和5年度)

[図表15-1]

◆奨学金返還支援事業の対象事業者数および補助金交付人数の推移

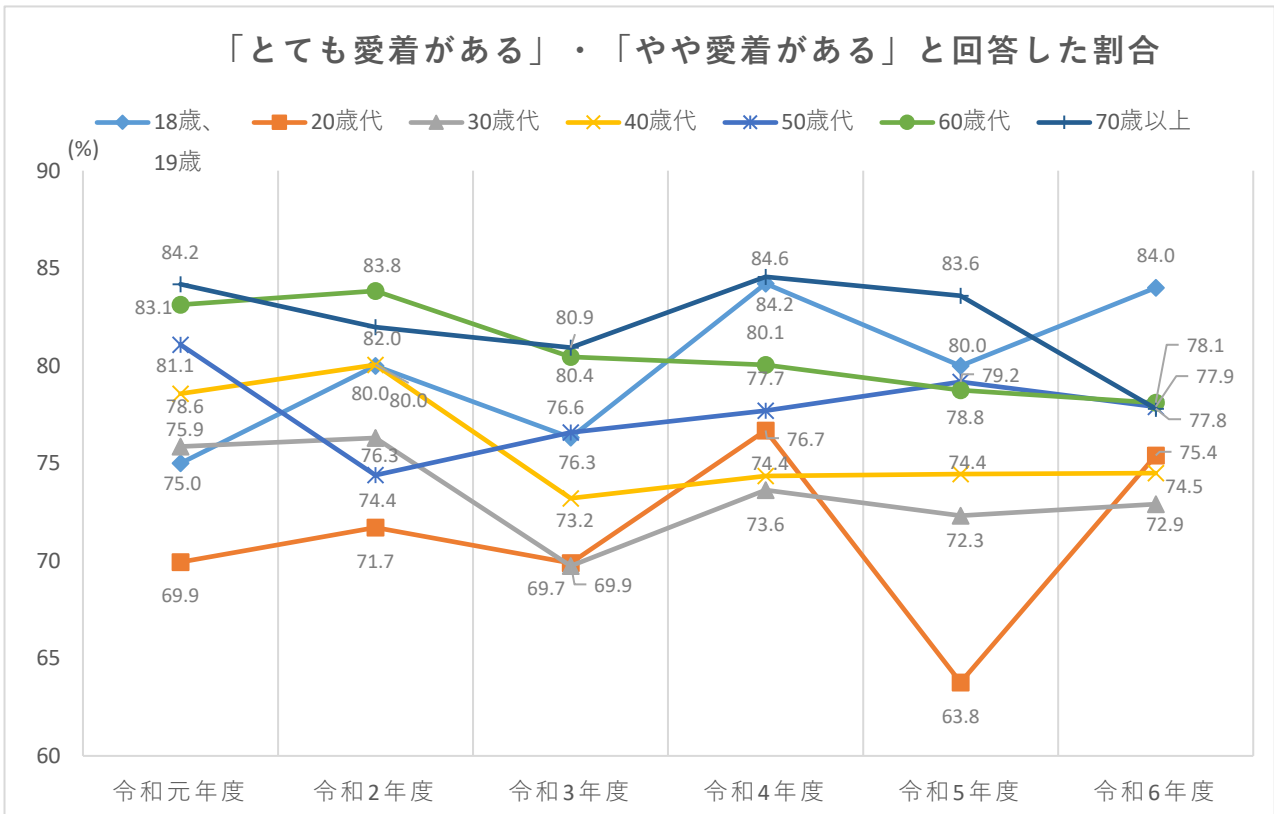
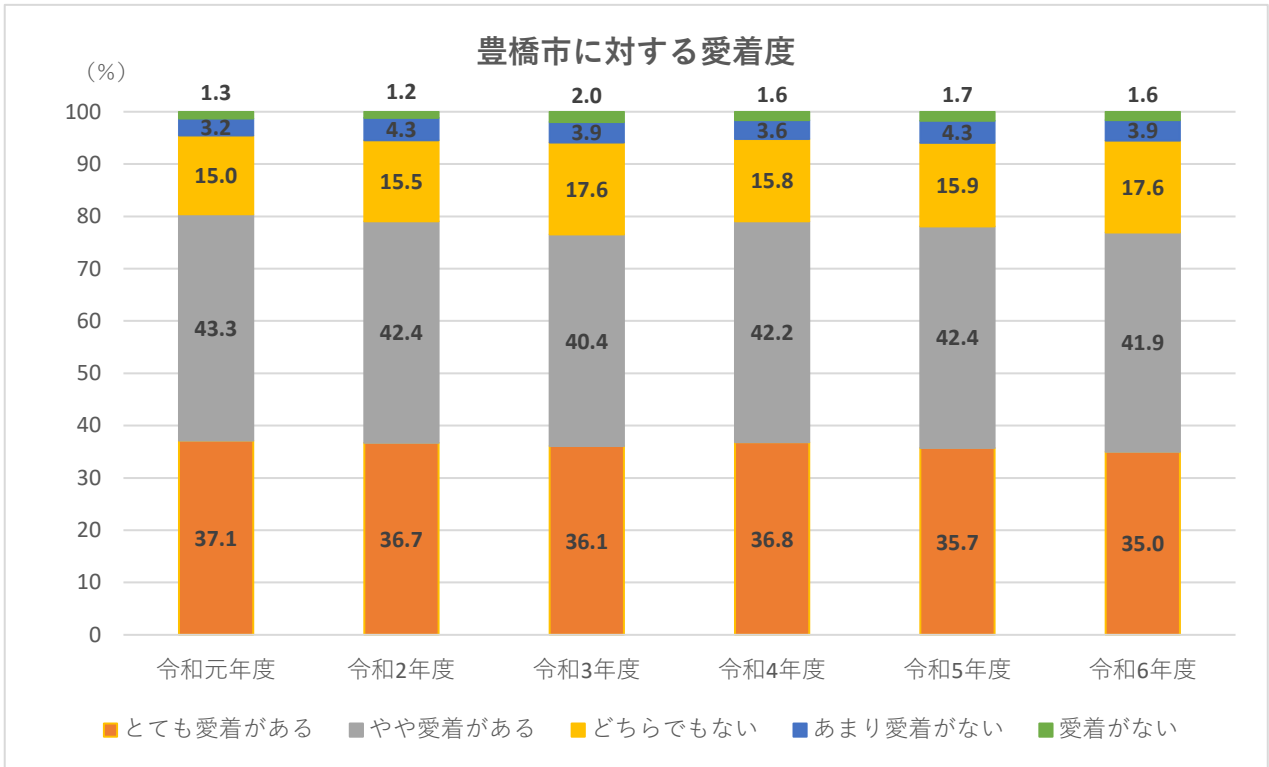


資料:豊橋市商工業振興課調べ(令和元年度～令和5年度)

[図表16-1]

◆豊橋市に対する愛着度と自慢度

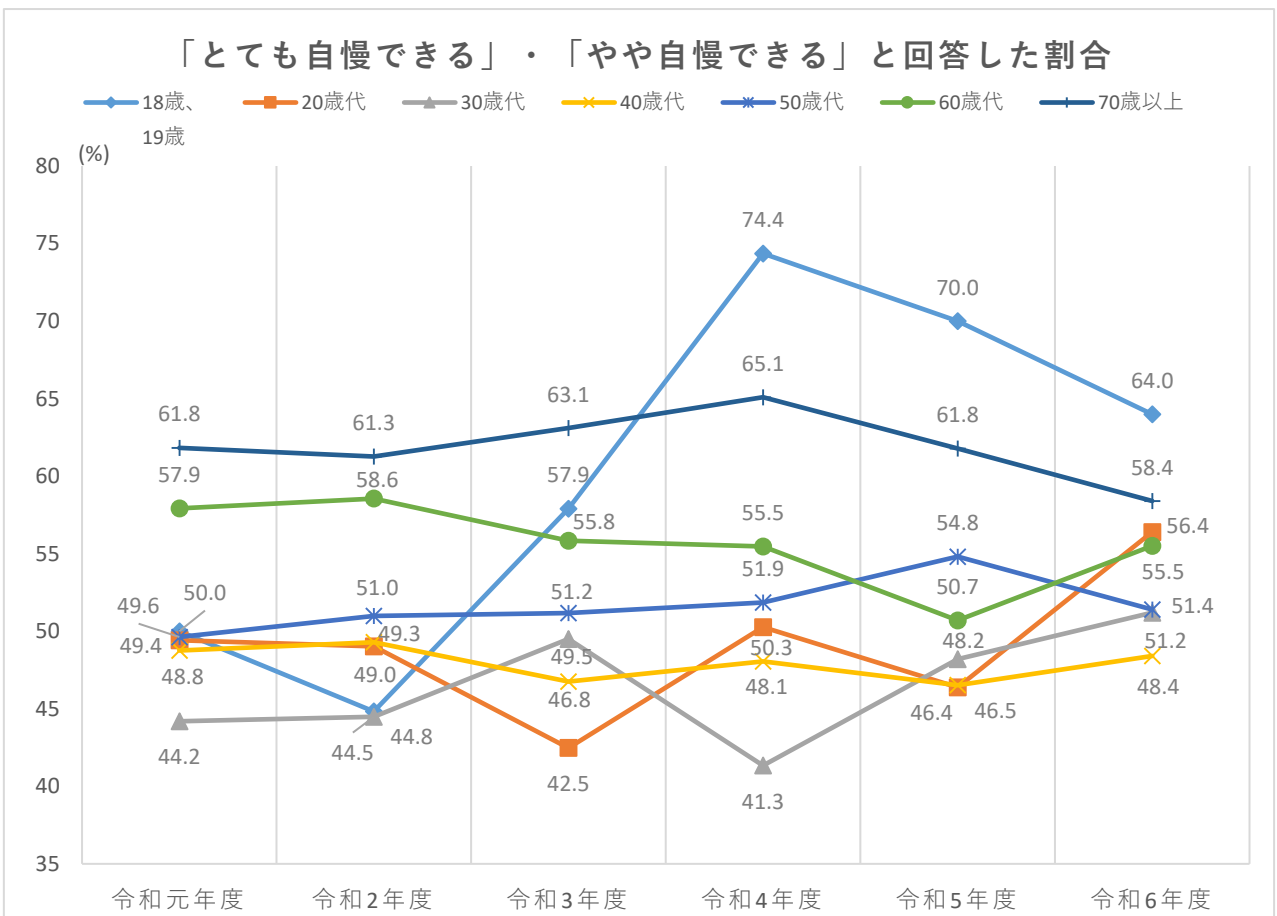
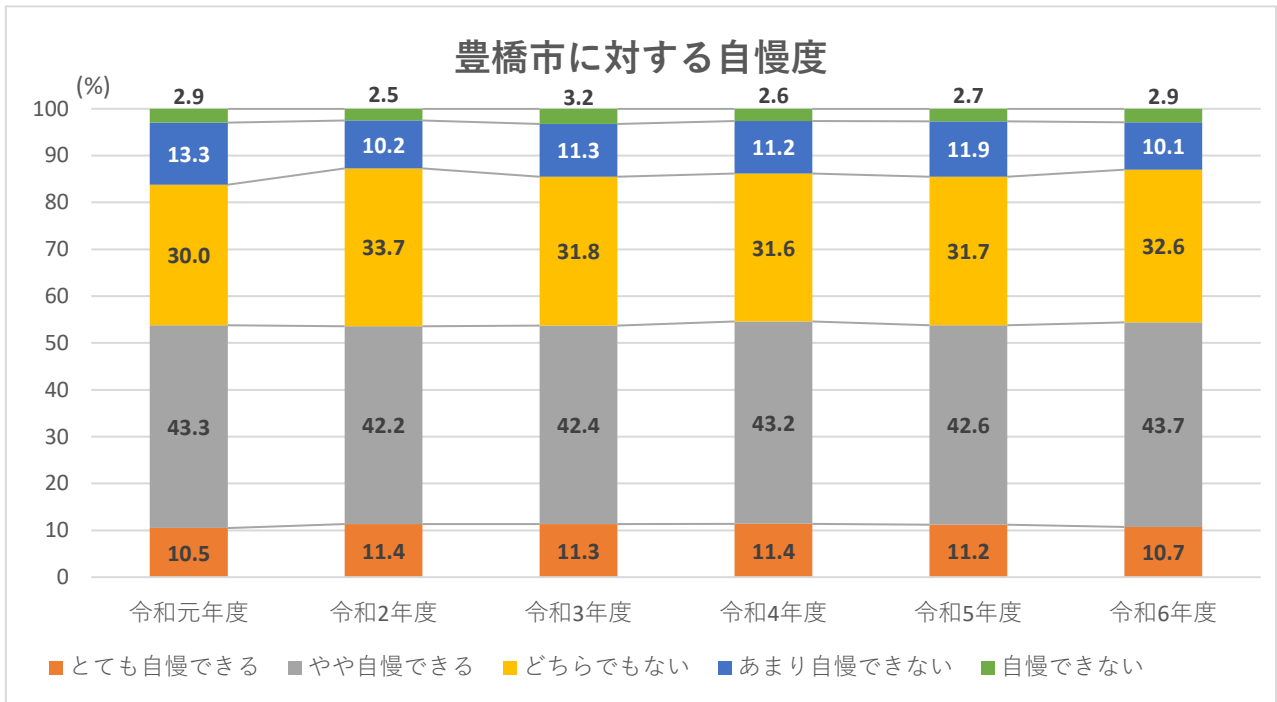
問：豊橋市に対して愛着がありますか。



資料：豊橋市市民意識調査(令和元年度～令和6年度)

[図表16-2]

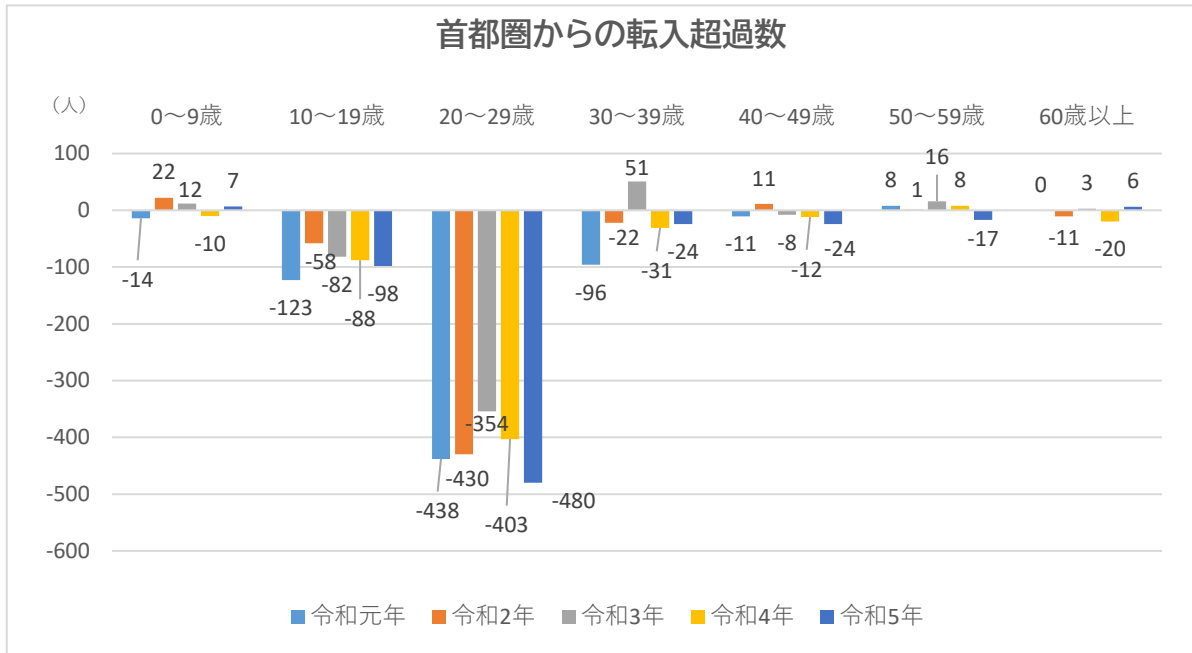
問：豊橋市を自慢できますか。



資料：豊橋市市民意識調査(令和元年度～令和6年度)

[図表17-1]

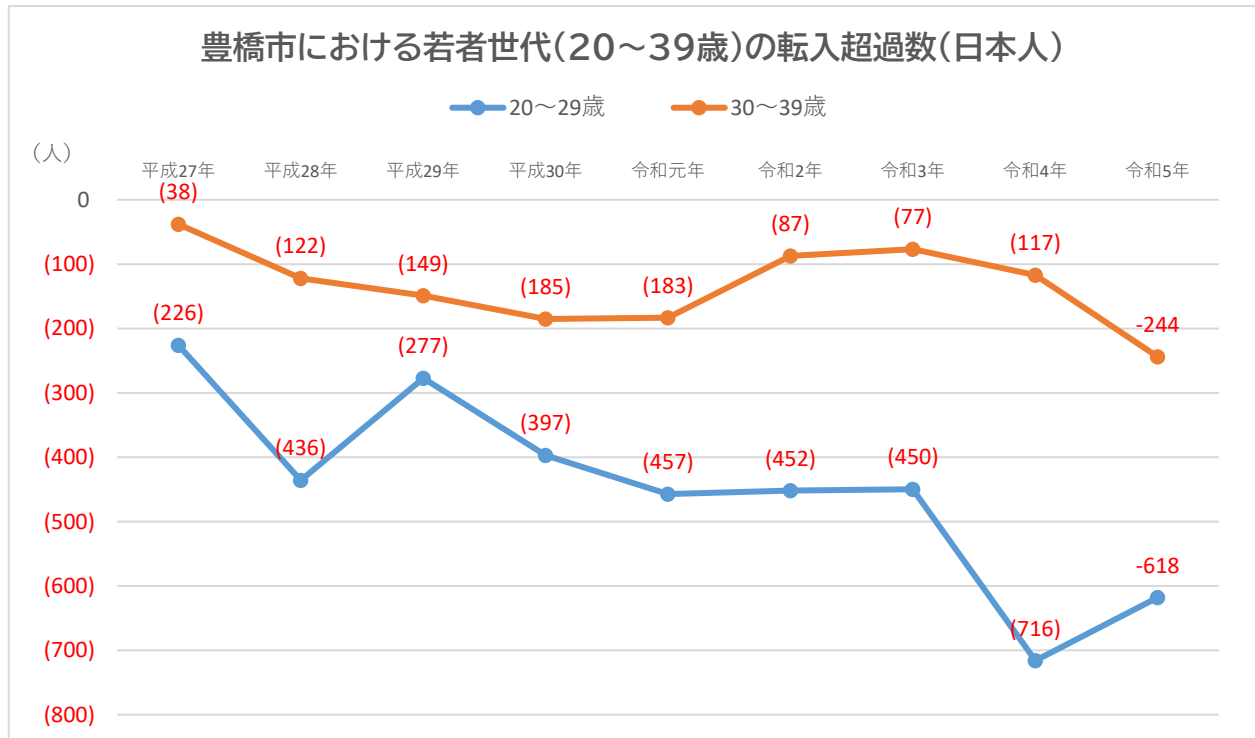
◆首都圏からの転入超過数



資料:総務省住民基本台帳人口移動報告 年報(令和元年～令和5年)

[図表17-2]

◆豊橋市における若者世代(20～39歳)の転入超過数

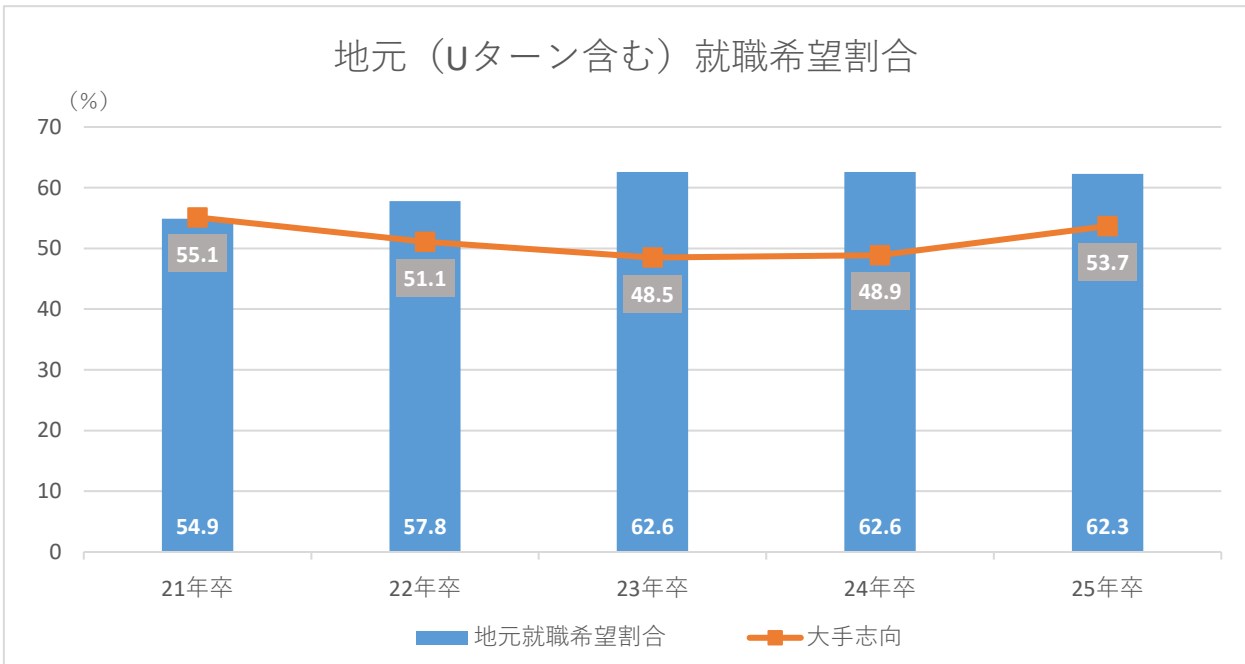


※「豊橋市への転入者数」-「豊橋市からの転出者数」(日本人)

資料:総務省住民基本台帳人口移動報告 年報(平成27年～令和5年)

[図表18-1]

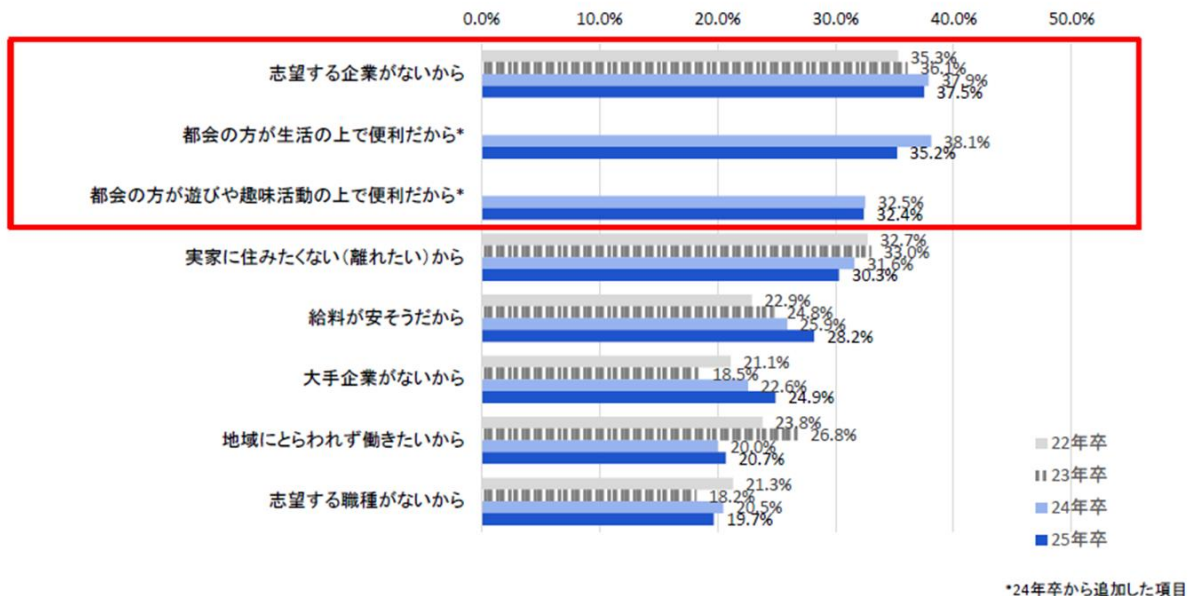
◆地元（Uターン含む）就職希望割合



- ・「地元就職を希望するか」という質問に対して「希望する」+「どちらかと言えば希望する」と回答した割合
- ・大手志向=「絶対に大企業が良い」+「自分のやりたい仕事ができれば大手企業が良い」と回答した割合

[図表18-2]

◆ 地元企業（Uターン先企業を含む）を希望しない理由

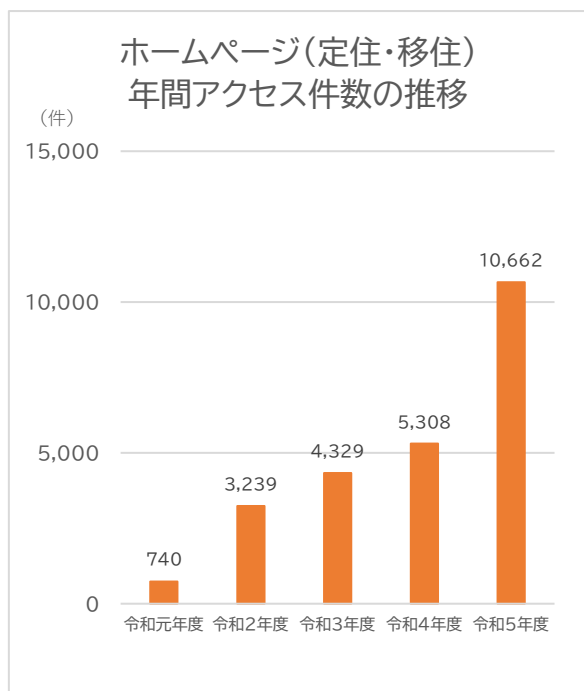


※Uターン就職を希望しない（「希望しない」+「どちらかと言えば希望しない」）学生限定の回答

資料：「マイナビ 2025年卒 大学生Uターン・地元就職に関する調査」

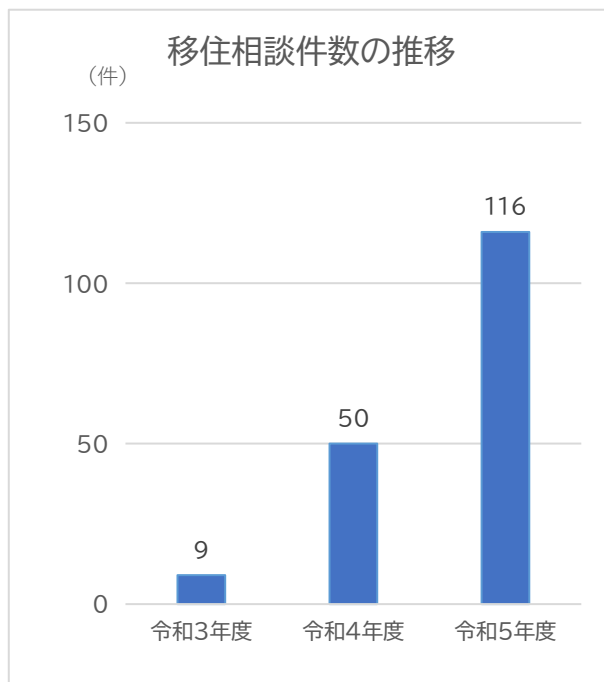
[図表19-1]

◆ ホームページ（定住・移住）
年間アクセス件数



[図表19-2]

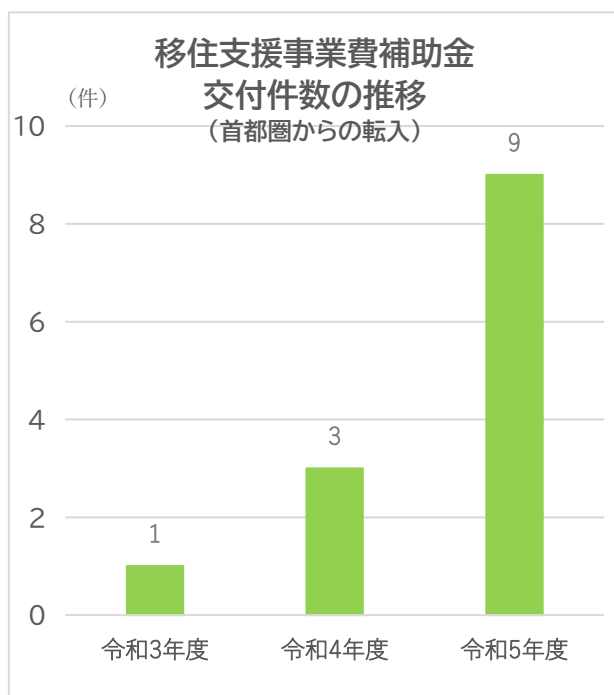
◆ 移住相談件数



資料: 豊橋市広報戦略室調べ(令和元年度～令和5年度)

[図表19-3]

◆ 移住支援事業費補助金交付件数



資料: 豊橋市商工業振興課調べ(令和3年度～令和5年度)

[図表19-4]

◆ 若者世代（20歳～39歳）の方面別転出数（首都圏・関西・名古屋）



資料:総務省住民基本台帳人口移動報告 年報(令和元年～令和4年)

[図表20-1]

◆「共働き子育てしやすい街ランキング」

【過去5年推移】

調査年	2019	2020	2021	2022	2023
共働き子育てしやすい街 ランキング	47位	28位	14位	3位	3位

【主な評価項目】

- 乳幼児の子育て負担の軽減
 - ・1歳未満児がいる全世帯への家事代行サービスクーポンの配布
 - ・「おむつのサブスク」を公立保育園で導入
- 第2子以降の子育ての経済的負担の軽減
 - ・ファミリーサポートセンターの利用料補助金の対象者拡大
 - ・所得制限なく第2子の保育料無償化・副食費の軽減
 - ・民営児童クラブにきょうだいで同時期に加入している世帯への助成
- 女性のキャリア支援
 - ・再就職セミナー、女性応援プロジェクトセミナーの開催
 - ・男女別専用トイレの整備などに係る費用の企業への助成
- 男性の意識改革・ワークライフバランスの推進
 - ・男性従業員の育児休業取得推進のためのセミナーの開催
 - ・子育て応援企業の認定において、就業規則の整備や子育て家庭にやさしい取組を推進
 - ・家事に関するセミナーの開催

【2023年結果】

順位	自治体名
1位	松戸市(千葉)
2位	宇都宮市(栃木)
3位	豊橋市
4位	神戸市(兵庫)
5位	羽村市(東京)

資料: 日本経済新聞社・日経BP
『日経 xwoman』

[図表20-2]

◆「シティブランド・ランキング —住みよい街—」

【過去5年推移】

住みよい街ランキング	2020	2021	2022	2023	2024
全国(ベスト200)	106位	139位	127位	80位	19位
中部圏(ベスト20)	—	—	20位	10位	2位

【主な評価項目】

- 子育て
 - ・保育所、幼稚園、認定こども園などの充実・入園しやすい
 - ・子ども向けの体育・文化活動が盛ん
 - ・教育機関が充実している
 - ・自治体による出産・育児・子育て支援が充実している
 - ・子どもを遊ばせる場所が多い
- その他 (街の活力・医療・生活の利便性など)
 - ・子どもや若者が多い
 - ・職住近接が可能
 - ・地域で仕事を見つけやすい
 - ・多様な地域参加の機会がある
 - ・病院や診療所が多く、夜間緊急体制も整っている
 - ・小児科、産婦人科が多い
 - ・応援できる文化・スポーツ団体がある
 - ・街に愛着がある人が多い

【2024年結果】

全国ランキング

順位	自治体名
1位	武蔵野市(東京)
2位	浦添市(沖縄)
3位	吹田市(大阪)
4位	千代田区(東京)
19位	豊橋市

中部圏ランキング

順位	自治体名
1位	長久手市
2位	豊橋市
3位	日進市
4位	岡崎市
5位	小牧市

資料: 日経BP
『シティブランド・ランキング—住みよい街—』

[図表20-3]

◆「日本の都市特性評価（森記念財団）」

【過去5年推移】

日本の都市特性評価	2020	2021	2022	2023	2024
生活・居住分野	11位	12位	11位	9位	5位

【主な評価項目】

○育児・教育

- ・合計特殊出生率
- ・育児、教育関連給付の多さ
- ・子どもの医療費支援
- ・教育機会の多様性

○居住環境

- ・居住環境の満足度（防災性、防犯性、利便性など）
- ・新規住宅供給の多さ
- ・住宅の広さ

【2024年結果】

分野：生活・居住

順位	自治体名
1位	名古屋市（愛知）
2位	山形市（山形）
3位	大分市（大分）
4位	吹田市（大阪）
5位	豊橋市

資料：森記念財団都市戦略研究所
「日本の都市特性評価」